仕様一覧

項目		仕様
製品名		BeagleOne-A（ビーグルワン・エー）
デジタル入力接点	端子数	8点（ 無電圧接点 ： a/b接点共に対応 ）
	入力方式	レベル（ラッチ） / パルス
シリアルポート（RS-232C）		D-sub9ピン × 2 （FOMAモジュール接続、カスケード接続、設定変更 に利用）
利用回線		FOMAパケット通信
通報判定機能	信号検知	100ms～60s間の信号保持を検知
	停電検知	本体供給電源の停電/復電を検知
	トリガー条件	複数信号のAND/OR/NOT条件機能 単位時間カウント機能
通報機能	通報方式	Eメール
	通報先	最大30アドレス
	文字数	1メッセージ当たり最大 本文：全角128文字、題名：32文字
	メッセージ数	最大32種類
	通報回数	0～100回、無制限、定期
	別担当者送信	1通報あたり最大5段階
	通報停止条件	返信Eメールの受信、設定通報回数到達、手動停止
オプション	接点増設 （カスケード接続）	BeagleOne-Aを最大8台接続により、通信モジュールの共用可能
電源	通常時	ACアダプタ（AC100V / AC200V）
	停電通報時	ニッケル・水素電池
動作環境	温度	0℃～40℃
	湿度	20%～80%（結露無きこと）
	周囲	腐食性ガスの無きこと 強い磁気や強い電磁波の無きこと
消費電力		7W
外形寸法		127mm(W) × 102mm(D) × 48mm(H) 突起部は除く
重量		約420g
主な付属品・添付品		ACアダプタ（BeagleOne-A用） BeagleOne付属CD ・取扱説明書 ・設定用ユーティリティ

ランニングコスト

本製品をご利用頂くにあたり、ランニングコストとして以下の料金が必要となります。

- 回線使用料金（FOMAパケット通信サービス利用料金）
- メールを利用する為のプロバイダ料金（moperaU等 利用料金）

ご利用料金（ランニングコスト）例

	サービス名	月額基本料（税抜き）
回線使用料	FOMAユビキタスプランS（5年契約）	500 円
プロバイダ料	mopera U スタンダード	500 円
合計		1,000 円

※ 上記の基本料金内にて、1か月に約12通程度のメール通報が可能です。
※ 上記は一例です。使用状況により、必ずしも上記になるとは限りません。メール送受信が多い利用形態の場合は、ランニングコストが高くなる場合があります。
※ 上記は本書発行日現在のものです。詳細は当社営業担当へお問い合わせ下さい。

ご利用にあたり必要な物

1. BeagleOne-A（本製品）同梱機材一式

2. FOMAアダプタ関連機材一式 ※別売り
   - ・FOMAユビキタスモジュールアダプタ（ユビキタスモジュール内蔵）
   - ・FOMAアダプタ給電用電源ケーブル※当社オプション品
   - ・FOMAアダプタ接続用RS-232Cストレートケーブル※当社オプション品
   - ・FOMA用アンテナ（電波状況により使用するアンテナは異なります）

3. 設定変更用RS-232Cクロスケーブル ※当社オプション品
   ※ カスケード接続を行う場合も本ケーブルを利用できます。

4. FOMA回線契約／プロバイダ契約 ※NTTドコモ様契約
   ※当社にてお申込頂くことも可能です。詳しくは、営業担当 にご相談下さい。場合によってはNTTドコモ様にお申込いただく場合もあります。

お客様ご対応事項

1. BeagleOne-Aご注文
   当社営業担当もしくは、販売店にご連絡下さい。

2. FOMAアダプタご購入／FOMA回線・プロバイダ契約お申込み
   プロバイダは、NTTドコモ様のmopera U に対応しています。FOMAおよびmopera Uに関するお問い合わせは、NTTドコモ様へお願い致します。
   当社にてご購入・お申込頂くことも可能です。詳しくは、営業担当にご相談下さい。場合によってはNTTドコモ様にお申込いただく場合もあります。

3 初期設定
   - ・moperaU初期設定
     Webブラウザからの設定作業となります。
   - ・BeagleOne-A初期設定
     初期設定ユーティリティにて簡単に設定を実施することが出来ます。

   ※これらの作業は当社にて代行することも可能です。詳しくは、営業担当 にご相談下さい。

4. BeagleOne-AおよびFOMAアダプタ設置
   - ・接点のつなぎ込み
   - ・BeagleOne-AとFOMAアダプタとの接続
   - ・FOMAアンテナの接続および設置

カスタマイズ等のご相談について

当社では、本製品のカスタマイズ対応や、その他、様々なご用件を承っております。ご相談事項につきましては、随時お受け致しておりますので、お気軽にご相談下さい。

下記のお問合せ用E-mailアドレスによるメール、または、お電話にてご相談下さい。

また、ご相談の際にはご面倒ではありますが、御社名、ご担当者名、ご連絡先、BeagleOneの簡単なご利用目的等をご記載・ご連絡頂きますようお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社パルソフトウェアサービス

http://www.palsoft.co.jp

松山本社：〒790-0951 愛媛県松山市天山3丁目10-31 第二くつなビル

TEL：089-932-7520 FAX：089-932-7516

お問い合わせ用E-mail ： beagleone@palsoft.co.jp

当社は、中小ものづくり高度化法に基づく特定研究開発等計画の認定を受けました。

※ 本記載内容は予告なく変更されることがあります。

2010年10月28日発行 PBOA025FPP

Pal Software Service

遠隔監視装置 BeagleOne-A（ビーグル ワン エー）

設備や機器等で発生した信号を検知し、携帯電話やパソコンへEメールを送信する装置です。

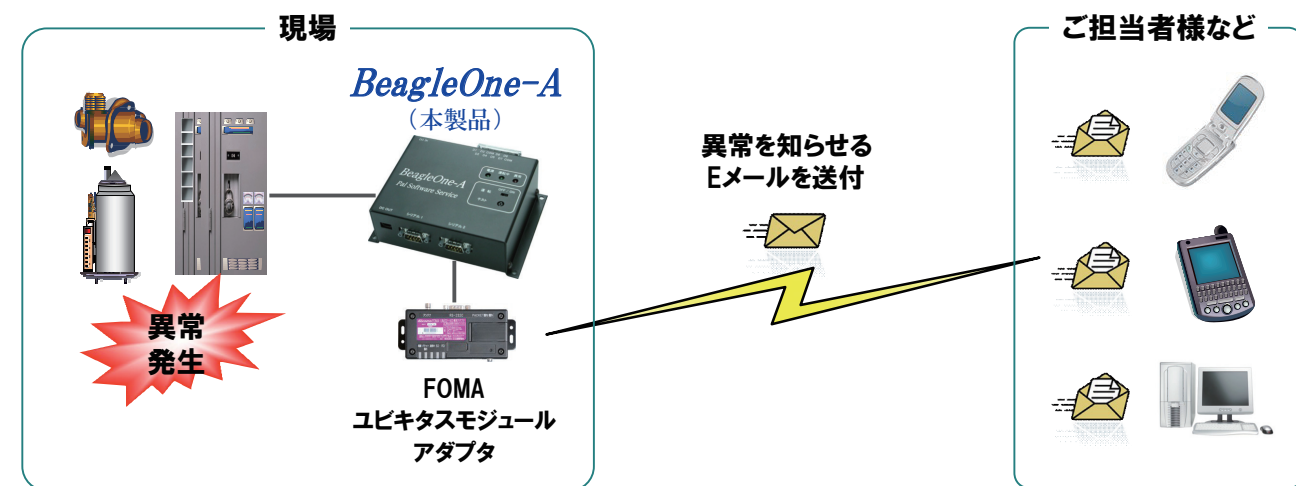
オープン価格

製品概要

遠隔監視装置BeagleOne-A（ビーグルワン・エー）は、様々なセンサーや機器類を接続し、その信号変化を検知することによりFOMAの通信回線を使って自動的にEメールを送信する装置です。簡単に言うと、スイッチが入ればEメールを送信します。

例えば、産業機器のセンサーや制御盤（リレーやシーケンサなど）から警報等の信号が入ったり、防犯センサーからの信号が入ったりすると、Eメールを送信します。

Eメールの送信には、「FOMAユビキタスモジュールアダプタ」（別売り）を使ってNTTドコモの「FOMAパケット通信」を利用します。Eメール送信時にのみの通信となりますので、通信料（月額使用料）が非常に安価です。

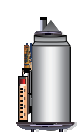
また、設定条件等の必要な情報を設定ユーティリティをご使用いただくことで、簡単に設定することができます。さらに、設定のサポートもいたしますので、どなたでも簡単に導入いただくことができます。

特長

保守員の負担を軽減
現場の異常を検知しEメールにてお知らせするので、不要な巡回を減らすことができ、保守員の負担が軽減されます。

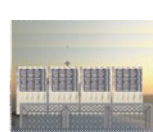
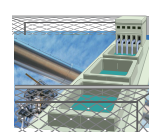
柔軟な条件設定
Eメールの送信条件を柔軟に設定することができますので、かゆい所に手が届きます。

設置が簡単
FOMA通信を利用しますので、LAN配線やサーバー構築は不要で、簡単に設置できます。

なんと言っても安い！
余計な構成を省くことにより、お求めやすい価格となっております。ランニングコストも非常に安価です。

用途例

マンホールポンプ　蒸気ボイラー

受変電設備

ガス貯蔵設備

空調設備

水位監視

コインランドリー

自動販売機

コイン精米機

機能

接点入力

入力端子は8点の無電圧接点（a/b接点共に対応）です。

メッセージを自由に設定可能

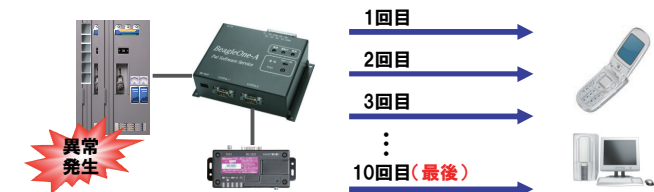
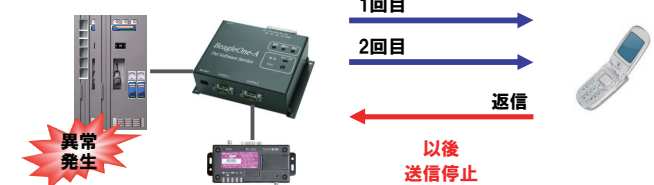
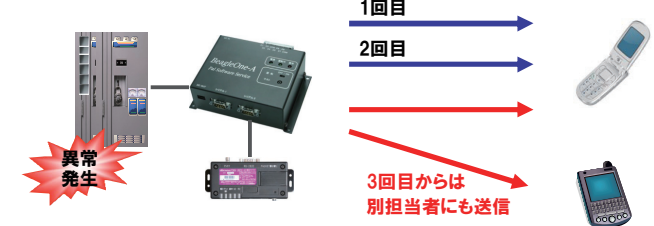
Eメールで通知するメッセージは自由に設定可能です。送信条件ごとにEメール本文は最大128文字、題名は最大32文字まで設定可能なので、どういった異常が発生したのか等、メールを受け取っただけで分かります。

Eメールメッセージ例

確実なEメール通知

Eメールを複数のメールアドレス（最大30件）に送信することができます。また、送信回数の設定（0～100回、無制限）をすることができます。受信したEメールへ返信メールを返すことによって、以降のEメール送信を停止するような設定も可能です。

また、一定回数以上Eメールを送信しても返信メールを返さなかった場合に、別の担当者（別のメールアドレス）にもEメールを送信することもできます。

送信回数を10回に設定した場合

途中で返信した場合

一定回数で別担当者へ送信

入力判定

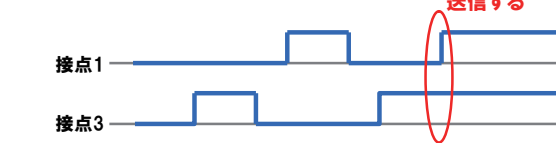
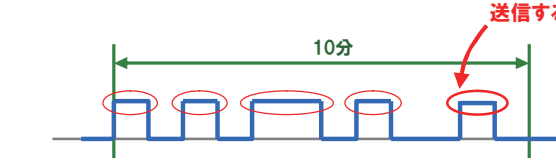
入力信号の判定時間（どれだけ信号が入り続ければONとみなすか）を設定することができますので、短く設定すればパルス信号を検知することができ、長く設定すればレベル信号（ラッチ）を検知することができます。また、判定時間の設定は100ms～60sまで設定できます。

この判定時間を設定することにより、チャタリングを防止することができます。

柔軟な送信条件を設定可能

各接点ごとに柔軟な送信条件を設定できます。また、複数の設定による複合条件も設定できます。例えば、接点1と接点3がONになったらEメールを送信する、というような設定が可能です。

また、10分間で5回以上の入力があったらEメールを送信する、接点2がONになった時間から2分以内に接点4がONになったらEメールを送信する、など、柔軟な条件を設定することも可能です。

接点1と接点3がONになったら送信

10分間で5回以上の入力があったら送信

停電対策

BeagleOne-Aは充電池を内蔵し、停電発生時の停電／復電通報を標準で行います。（通報しない設定も可能です。）

停電の検出には、外部からの停電信号を接続する必要はありません。BeagleOne-AにACアダプタから供給している電源が停電／復電することにより検出します。

停電中の接点監視は行いませんが、停電発生前に蓄積した運用データは、復電まで保持（バックアップ）します。

接続する機器の停電信号を接続し、別途停電／復電の通報を行うこともできます。

接点の増設が可能（※オプション）

同一拠点にて8点以上の接点入力が必要な場合には、BeagleOne-AをRS-232Cケーブルで複数接続することにより、お客様で購入して頂くFOMA通信アダプタを1個に集約することができます。また、回線契約も1本でよいので、ランニングコストの大幅な削減ができます。（※2）

※2 パケット通信料は、データ量に応じて必要になります。

Pal Software Service

使用例

複数対象の状態異常監視

監視対象からの接点出力を、直接BeagleOne-Aに接続した場合の構成例です。

BeagleOne-Aには、1台あたり8本の接点出力を接続することができます。

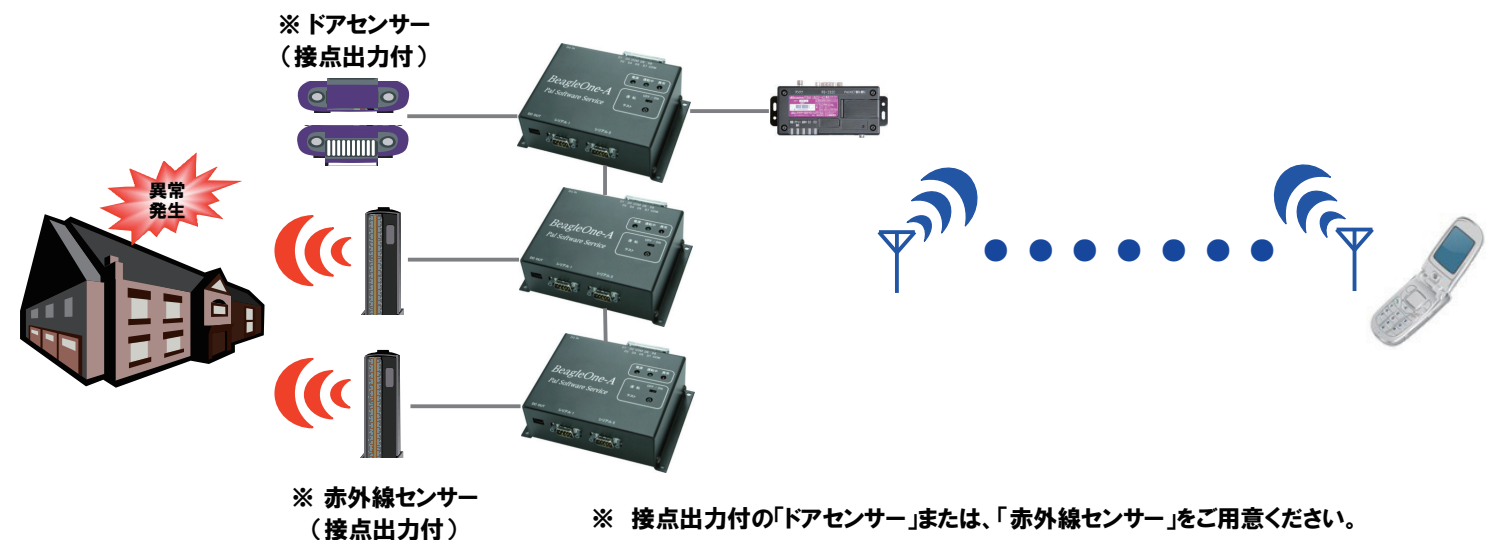
BeagleOne-Aが異常発生を検知した際は、異常を知らせるEメールを送信します。Eメールを受信したご担当者様は、メール本文の内容から異常が発生した監視対象の状態を把握できます。

※ メール本文の内容は、設定により内容の編集が可能です。

ドアセンサー及び、赤外線センサーによるセキュリティ監視

BeagleOne-Aを直列に複数台接続してそれぞれの接点入力を監視している構成例です。

接点出力の付いた「ドアセンサー」や「赤外線センサー」を併用して、建物のセキュリティ監視などにもご使用頂けます。8接点以上が必要な場合は、オプションの接点増設によりBeagleOne-Aを複数台接続することで対応できます。

※ 接点出力付の「ドアセンサー」または、「赤外線センサー」をご用意ください。

送信条件ごとの設定監視　～ 一定時間内の複数回入力で通報 ～

監視対象からの信号入力回数を、設定回数と比較して通報する構成例です。機器の故障予知にもご活用頂けます。

例えば、モーターの空転（スリップ）情報を入力できれば、通常は5分間に1度や2度のスリップは起こる場合もあるので通報しないが、10回以上もスリップした場合には通報する、というような設定を行うことができます。